

つわぶきだより

9月号



令和2年9月1日第425号
編集担当者 木下 剛

残暑の中にも少しずつ、秋を感じるようになりましたが、夏の疲れは残っていませんか？熱中症とコロナ渦の中であり、体調管理には十分注意してくださいね。

☆☆☆ 9月の行事予定 ☆☆☆

- | | | |
|--------|-----------------------|--------|
| 5日(土) | 通所日 | |
| 10日(木) | 献立会議 | 13:30~ |
| 18日(金) | 稲田病院 楠本 Dr. 来所 | 11:00~ |
| 19日(土) | 通所日 | |
| 21日(月) | 祝日：敬老の日 | |
| 22日(火) | 祝日：秋分の日 | |
| 29日(火) | 生活介護 お楽しみ Day (コンサート) | |

9月は5日、19日の土曜日が通所日となります。
残暑に負けず、通所してくださいね。

★★★ 8月の出来事 ★★★

1日(土)	通所日	
	リスクマネジメント(事故防止)研修	
3日(月)	施設長会議	
5日(水)	献立会議	13:30~
7日(金)	働きやすい職場づくり委員会 綜愛苑	9:30~
10日(月)	祝日:山の日	
13日(木)~16日(日)	夏期休暇	
21日(金)	稲田病院 楠本 Dr. 来所	11:00~
26日(水)	生活介護 お楽しみDay(夏祭り)	

人に話したくなる。月にまつ
わる不思議な話



日本人は月の運行に基づいた「太陰太陽暦」で生活をしていました(実は、まだ150年も経っていません!)。つまり今よりもずっと月と密接なつながりをもって生きてきたのです。「秋の月見」の習慣もそのひとつ。

現在、月見といえば十五夜をイメージする方が多いでしょう。しかし、日本古来の月見は、十五夜の中秋の名月(旧暦8月15日)と、月遅れの十三夜(旧暦9月13日)に行われるのが一般的でした。秋の澄み切った空にひととき美しく映った月を眺めるといふわけです。月見が文献に現れるのは平安時代の頃からで、中国の“観月の宴”が日本の貴族に伝わったとも言われています

マスクの効果と正しい使用方法

新型コロナウイルス感染防止の為の、マスクの効果と正しい使用方法について今 1 度再確認してみましょう。

マスクの効果

マスクが最も効果を発揮するのは咳やくしゃみのある人がマスクをつけた場合です。風邪やインフルエンザ患者、新型コロナウイルス患者は 1 回の咳で約 10 万個、1 回のくしゃみで約 200 万個のウイルスを放出すると言われています。マスクをつけることで、しぶきによる周囲の飛まつを減少させることができます。近くで看病するなど咳やくしゃみのしぶきを直接浴びる可能性がある場合には予防効果があると考えられます。

マスクの正しい使用方法

顔との隙間がないように顔にフィットするサイズ・形のマスクを選択し、必要に応じてゴムを結ぶなど顔にフィットさせる工夫をして下さい。

【正しいマスクの装着方法】

- 鼻と口の両方を確実に覆います。
- ゴムひもを耳にかけます。
- フィットするように調節します。



鼻から、あごまで、ヒダを伸ばしましょう



鼻の形にワイヤーを折り曲げましょう

ご報告

「8月7日に和歌山保護司会東支部の皆様が作成した手作りマスクを100枚寄贈していただきました！！」

